

# しまね体験活動支援センターだより

第26号

## 令和2年度 NPO 法人しまね体験活動支援センター総会を開催

令和3年5月28日(金)午後6時30分から斐川町環境学習センターで、令和3年度通常総会(第15回総会)を開催しました。第1号議案の2020年度活動報告及び決算、第2号議案の役員改選、第3号議案の2021年度活動方針及び予算については、ともに全会一致で承認されましたのでご報告いたします。

令和4年の総会は5月26日(木)午後6時30分から斐川町環境学習センターで開催。

令和3年 11月20日(土)

## 「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり15成果発表会」開催

11月20日(土)午後2時30分から出雲科学館で、新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら少人数で第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会を開催しました。

総評：出雲市教育委員会 教育政策課社会教育係 係長 森脇淳志氏

来賓：国土交通省出雲河川事務所 計画課(河川環境室)河川環境室長 三原康宏氏

一般社団法人中国建設弘済会 島根支部長 江角忠也氏

内容：斐伊川・神戸川流域の3小学校と1高等学校の児童・生徒が2021年に実施した河川環境調査等の取り組みを様々な手法で発表しました。プレゼンテーションや手持ちパネルを使ってそれぞれの調査結果や気づき、環境のすばらしさ、地域の魅力などを発表してもらいました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年よりも学校数・発表者人数を減らし、十分に部屋の喚起を行い、手指の消毒とマスクを着用して開催しました。阿井小学校は「ほんとうに川はきれい？」との疑問から調査・考察・防災・河川環境保全までも話をつなげ学びの発展が見られました。多伎小学校は五感を使って希少生物も多い多伎町の自然を感じるとともに地域にその良さを伝えたいとの思いを元気に発表してくれました。頓原小学校は学習したことを学校・地域・日本・世界に伝えたいと各自がポスターを作成し自分にできることをやっていると発表してくれました。出雲西高等学校インターアクトクラブは長い活動の歴史とサケの養殖、山の植林活動、宍道湖のヨシの植栽、海岸の清掃活動、韓国高校生との交流などグローバルな視点で大人を巻き込んだ活度に取り組み、地域の子どものお手本となりました。その後、感想など会場での意見交換を行い成果の検証を行いました。



昨年に引き続き国土交通省出雲河川事務所と協力して

## 夏休み親子体験活動 宍道湖環境調査を実施！

2021年8月23日(月)午前中に宍道湖遊覧船「はくちょうⅢ号」で宍道湖に出かけ、専門家の指導を受けながら親子で水質調査体験を実施しました。今年も8月19日(金)に実施する予定です。

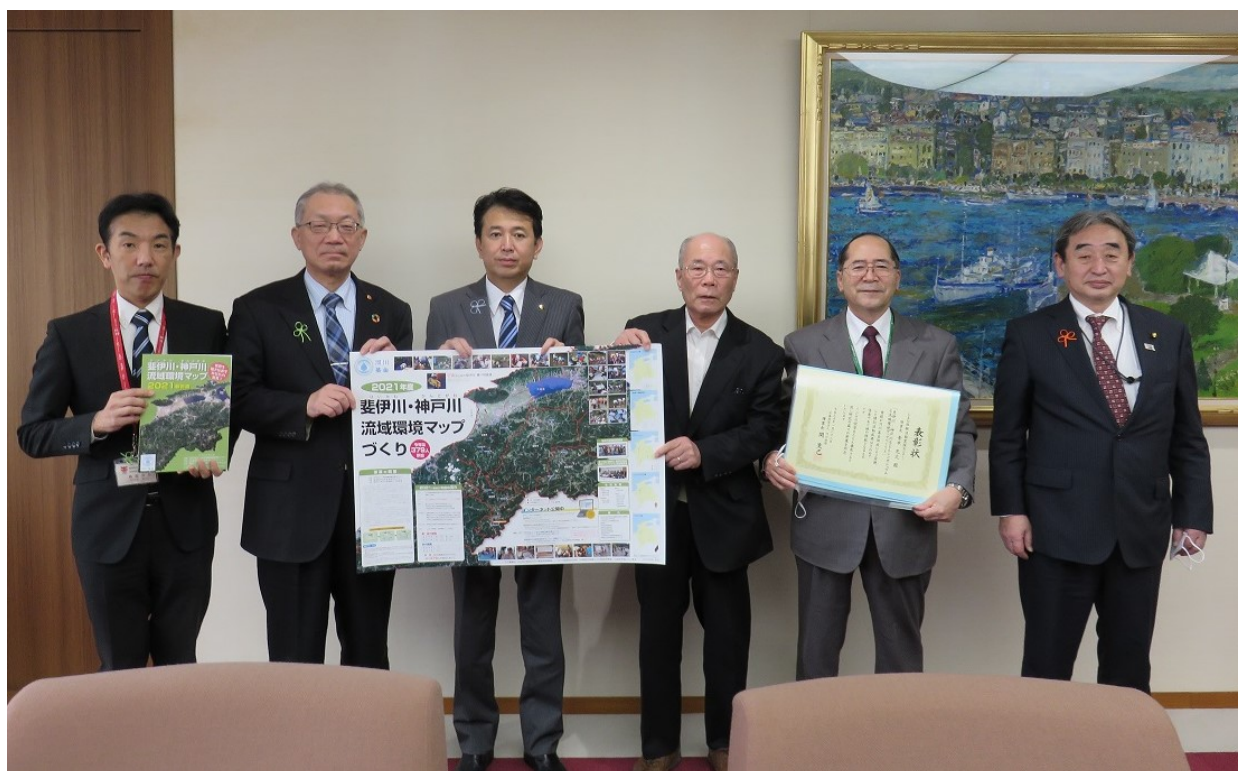
(写真は昨年の様子)



## 出雲市新市長にマップづくりを報告！

2022年2月22日に板垣理事の調整で出雲市役所を訪れ、飯塚出雲市長、杉谷出雲市教育長と面会し、長年続く斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの経過や国土交通省・島根県・流域市町・学校との協働について報告し、今後の支援もお願いしました。

河川流域全体で取り組むこの事業は全国的にも高い評価をいただいております。川づくり団体優秀成果表彰団体に幾度も選出された他、平成30年には国土交通大臣表彰「手づくり故郷賞」を受賞したことなども報告しました。(写真左から市教委森脇係長、杉谷教育長、飯塚市長、青木理事長、岩崎事務局長、板垣理事・市副議長)



## しまね体験活動支援センターの目的

広く住民に対して、子どもの健全育成、環境教育や環境保全活動の推進、社会教育の推進、学術・文化・芸術・スポーツの振興に関する事業を行うとともに、行政が行うこれらの活動の支援を行い、子ども達の健全な育成や住民の健康で文化的な生活の確保、公益の増進に寄与したいと考えています。

発行：しまね体験活動支援センター 理事長 青木充之  
事務局 〒693-0511 島根県出雲市佐田町八幡原 109 事務局長 岩崎知久（ともひさ）